



八 鹿 青 溪

貫徹 慎独 創造

令和 5 年 3 月 24 日 発行
第 27 号養父市立八鹿青溪中学校
兵庫県養父市八鹿町九鹿 201-4

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

ありがとうございました 令和4年度修了にあたり

貫徹坂を上がったところの桜の木のつぼみも昨日から開花し始めました。「八鹿青溪桜」の開花宣言です。そんな佳き日、無事に令和4年度の修了式を迎えることができました。1年生79人、2年生71人全員の修了と4月1日からの進級も合わせて認定しました。

今年度もまた、様々な制約のあった1年間でした。急な登校停止になってしまうことも重なり、生徒たちは生活のリズムを作るのが大変だったと思います。しかし、落ち着いた態度で学校生活を送り、毎日の授業や部活動、生徒会活動、地域での活動、また、あいさつや掃除に力を発揮することができました。これは、「未来を切り拓くことができる生徒の育成」を目指している本校にとって、とてもうれしいことです。修了式での1・2年生の姿からは、この1年を振り返り次の学年に進級する心構えと3年生から八鹿青溪中の良き伝統や校風を引き継ぎ、本校を背負っていく自覚を感じました。

さて今年度も、本校生徒のため、「チーム八鹿青溪」を合い言葉に教職員一丸となり精一杯努力してきましたが、至らない点もあったと思います。それにも関わらず、皆様には、本校教育の推進にあたり、多大なるご理解、ご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。令和5年度につきましても、生徒たちの自立、そして八鹿青溪中学校の発展のため、全教職員が全力で教育にあたっていく所存です。変わらぬご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

■職業調べ学習発表会■

3月13日(月)、1年生の学年PTA行事として、『職業調べ学習発表会』を行いました。調べてみたい職業について、3学期の総合的な学習の時間を使ってパワーポイント(スライド資料)を作成したり、発表練習を行ったりしてきました。当日は各クラスごとに学年委員様から職業調べの意義や将来につながるお話をいただきました。来年度は、この学びを活かしトライやる・ウィークを行います。たくさんのご参加ありがとうございました。



■部活動の結果■ 次年度に向け、1・2年生も頑張っています！ (敬称略)

- 兵庫県中学校バレーボール男女優勝大会 [2回戦惜敗] ●1-2 淡路市立津名中
- 但馬中学校選抜バスケットボール大会
(女子の部) **優勝** [準決勝] ○58-51 豊岡北中 [決勝] ○79-45 豊岡南中
(男子の部) [1回戦惜敗] ●34-43 竹野中
- 但馬中学校招待バスケットボール大会(女子の部) 第5位(1勝2敗)
●34-39 出石中 ●17-59 舞鶴市立青葉中 ○47-43 三木市立緑が丘中
- 兵庫県中学生ソフトテニスのじぎくカップ中央大会
(男子の部) 1回戦惜敗 中野楓太(1年)・山内暉斗(1年)ペア
(女子の部) 1回戦惜敗 村上瑠夏(1年)・井上倅花(1年)ペア
- 但馬中学校卓球1年生大会
(女子の部) 第3位 吉谷彩花(1年) ※県大会出場権獲得
(男子の部) 第5位 池田望来(1年) ※県大会出場権獲得



みんな応援!! 卓球1年生大会

■卒業証書授与式■ 卒業生の皆さんに幸あれ。自信と誇りを心の軸に！

3月8日(水)に第13回卒業証書授与式を挙行了しました。今年も在校生は教室でリモート映像を見ながらの参加となりましたが、在校生の式場にいるかのような厳粛な姿と保護者の皆様の祝福のもと、門出にふさわしい晴れやかな式となりました。式辞で述べた一部を紹介します。

ただ今、卒業証書を授与しました89名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから皆さんが歩む時代は、変化が激しく、国内外で課題が山積し、正解が一つとは限らない、複雑で困難な時代と言われます。そのような時代の主役になる皆さんに、人生の道しるべにして欲しいことばを贈ります。

それは生徒昇降口に掲げている「志期高遠・功貴切近」ということばです。意味は、「志は、高く大きく持ち、それを実現するためには身近なことから実践するのが良い。」ということです。メジャーリーグでMVPを獲得した大谷翔平選手は、日頃から「先入観は可能を不可能にする」という言葉を胸に、投手として160kmのボールを投げたかと思えば、打者としてホームランを量産するという、これまでに誰もが為しえなかったことを実現しました。彼は、自分の志の達成のため、高校時代から、目標達成シートなるものを作成しました。そのシートには、からだ作り、メンタル強化、球速160km達成など、技術面や精神面での8項目を掲げ、その項目ごとに、より具体的に身近なことを書き上げました。例えば、あいさつ、プラス思考、道具を大切に扱う、ゴミ拾い、本を読む、部屋の掃除、審判さんへの態度、応援される人間になるなど、身近なことです。彼は、大きく高い志を実現するために、身近なことを、今もひとつひとつ実践しています。そう、彼こそ、「志期高遠・功貴切近」の実践者なのです。「志期高遠・功貴切近」、このことばを胸に、自分の人生を歩んでください。

それでは卒業生の皆さん、八鹿青溪中学校で身につけた自信と誇りを心の軸として、新しい道を切り拓いていきましょう。

学校を牽引してきた3年生が卒業しました。3年生は様々な制約がある中で、自分を見失うことなく、あるべき姿を選択し、立派な中学校生活を送りました。卒業生89名の新たな舞台での活躍を願っています。

■公立高校学力検査■

3月10日(金)に公立高等学校の学力検査が行われました。17日(金)には合格発表があり、受検者全員が合格しました。これで卒業生89人全員の進路が確定しました。本当におめでとうございます。1・2年生にとっても、いずれは通ることになる道です。将来の自分の姿をしっかりと思い描き、その姿に近づくには何が必要なのかを考え、努力を重ねていくことを願っています。

■卒業記念品■

卒業生から、卒業記念品として「電子掲示板」を寄贈していただきました。大変ありがたい贈り物です。大切にそして有効に使用させていただきます。ありがとうございました。

■学校評価の結果■

今年度の学校評価については、学校運営協議会委員・保護者の皆様からいただいたアンケート及び教職員が行う自己点検などを総合的に振り返って行い、具体的な方策を検討しています。その結果については学校ホームページでお知らせいたします。

■新年度に向けて■

○学校でのマスク着用については、3月中はこれまでどおりの着用としますが、4月から、着用は個人の判断となります。コロナ禍前の様な生活が休業中に戻ってきます。○修了式では2つのことを話しました。①「今年度を振り返る」今年1年間で成長した点、まだ足りない点を分析する。②「来年度の目標を立てる」学期毎の短期目標、1年間での達成を目指す長期目標を考える。4月7日(金)の始業式、子どもたちが心身ともに元気な状態で新年度に臨むことができますよう、よろしくお願いいたします。



卒業記念品